

令和6年6月

警察署再編地域における治安情勢等について

1 警察署の再編概要

小規模警察署の統合により規模を拡大することで事態対処能力の向上を図るため、令和3年3月、たつの警察署と佐用警察署を統合して「たつの警察署」、朝来警察署と養父警察署を統合して「南但馬警察署」、豊岡南警察署と豊岡北警察署を統合して「豊岡警察署」をそれぞれ設置した。

(別紙1参照)

2 再編地域における治安対策

- (1) 地域住民の安心感、利便性の確保
警察センターの設置及び連絡調整官（警部）の配置
- (2) 地域に密着した警戒活動の確保
 - ア 交番、駐在所及びパトカーによる警戒強化
 - イ 各警察センターに第二機動パトロール隊の分駐所を設置
- (3) 警察本部による支援体制の確保
 - ア 広域多機能部隊の配置
 - イ 運転免許更新事務の継続
 - ウ 捜査支援体制の強化

3 再編後の治安情勢

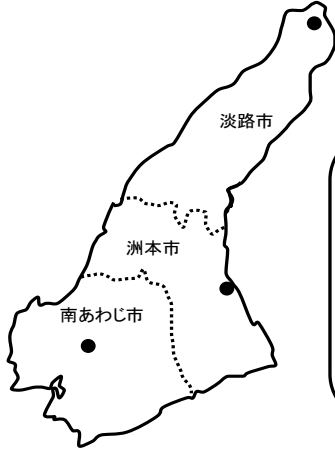
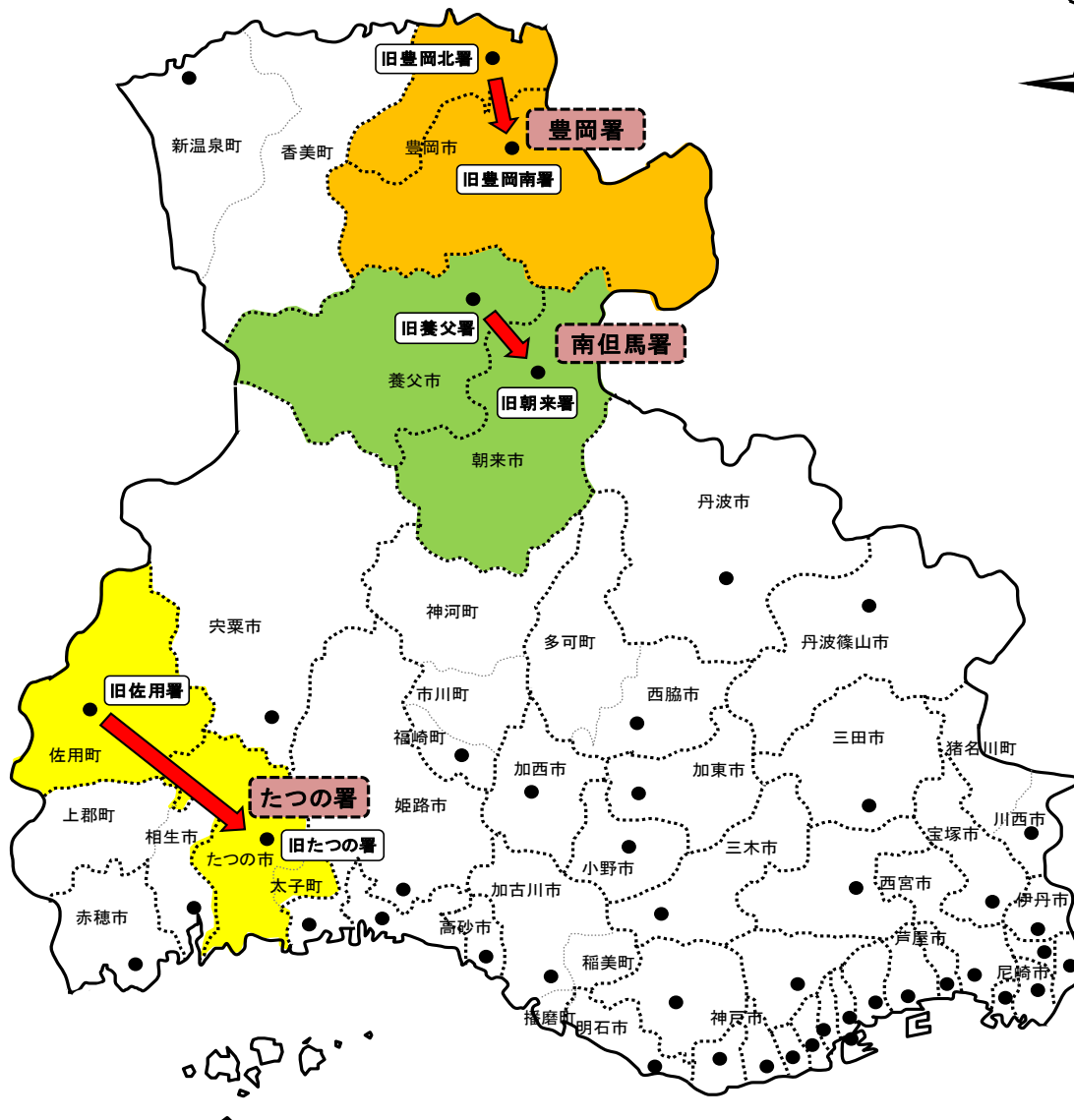
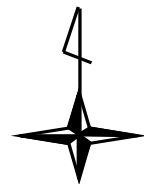
- (1) 管内情勢の指標
刑法犯認知件数、110番通報件数及び人身交通事故発生件数については、再編前過去3年間と再編後3年間の年平均件数を検証すると、概ね減少。
(別紙2参照)
- (2) その他
地域住民からは「パトカーをよく見かけるようになり、安心している」などの好意的な意見が寄せられている。

4 結果

再編地域においては、治安対策の効果もあって、治安情勢は安定しており、更なる対策を必要とする情勢にない。また、警察本部による支援体制の確保により、再編地域を中心に、広域にわたる治安維持力の向上につながっている。

今後も、治安情勢の変化を踏まえ、住民の安全を守るための力強い警察を確立し、地域住民の安心感の確保に努めていく。

兵庫県警察警察署等再編図



凡 例	
-----	警察署管轄区域境界線
.....	自治体境界線
●	警察署所在地

刑法犯認知件数（年平均）				
	再編前	再編後	増減数	増減率
全署平均 （1署当たり）	604.3	725.3	121.0	20.0%
旧佐用署	67.3	42.0	-25.3	-37.6%
旧養父署	75.7	69.3	-6.4	-8.4%
旧豊岡北署	37.3	28.0	-9.3	-25.0%

110番通報件数（年平均）				
	再編前	再編後	増減数	増減率
全署平均 （1署当たり）	8067.3	8774.5	707.2	8.8%
旧佐用署	566.7	565.7	-1.0	-0.2%
旧養父署	1437.3	1439.3	2.0	0.1%
旧豊岡北署	555.3	489.3	-66.0	-11.9%

人身交通事故発生件数（年平均）				
	再編前	再編後	増減数	増減率
全署平均 （1署当たり）	428.6	357.5	-71.1	-16.6%
旧佐用署	23.3	18.3	-5.0	-21.6%
旧養父署	62.3	45.0	-17.3	-27.8%
旧豊岡北署	18.3	11.0	-7.3	-40.0%

※ 再編前は平成30年4月1日～令和3年3月末（3年間）
再編後は令和3年4月1日～令和6年3月末（3年間）
数値の小数点以下第2位は四捨五入